

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 23 No 9

266号

平成27年 9月 9日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

学会大成功！！

院長

お陰様で、何度も紹介していた第25回日本外来小児科学会年次集会在無事終了しました。参加人数は2500人となり、盛況のうちに会長という大役を果たすことができました。皆さんには学会準備のための休診等でご迷惑をお掛けしましたが、ご協力に心より感謝いたします。

21日夜から東北大学川内北キャンパスで、前夜セミナーのプログラムが始まりました。あいにくの雨にもかかわらず、接遇と便秘のセミナーには約400人近い参加がありました。クリニックを休診にし、スタッフは昼には会場集合、院長は役員会に出席した後、接遇セミナーの座長を担当。その夜から2泊のホテル住まいとなりました。

22日は、開会準備のため、何と朝7時に会場集合です。開会前の訓辞から始まり、開会式挨拶、そのあとは来賓接待、会場視察で、もちろん休む暇はありません。午後からは総会での挨拶、加えて会長講演。会長講演の様子はいずれFacebook、YouTubeに掲載予定ですが、簡単に紹介しておきましょう。講演名は年次集会テーマと同じ「未来を担う子どもたちのために-小児科医に託されるもの-」で、生まれてからの自己紹介に始まり、クリニックの活動、さらにはクリニック以外の活動を紹介します。外部評価の重要性に触れ、「継続は力なり」でまとめました。何より力を入れたのは、院長なりのパフォーマンスです。写真のようにヘッドセットを付けPCをリモート操作し、壇上を歩き回りながらの講演でした。実は亡くなったAppleのステイブ・ジョブスばかりを目指したのです。その甲斐あってか、「会長講演はジェラシーを感じるほど圧巻でした」の評価をもらって満足しています。

もうひとつ力を入れたのは懇親会です。学会に懇親会というのは馴染まないかもしれませんが、評価のひとつであることは確かです。震災復興支援を頂いた全国からの参加者にお・も・て・な・し・の心で計画しました。オープニング前には院長が作成したプロモーションビデオを放映、むすび丸のお出迎えで始まりました。会長挨拶に続き、市長、医師会長の挨拶と続き、市長は自分の挨拶を例に上げて面白い話をしてくれました。アトラクションに趣向を凝らし、むすび丸以外に、

マグロの解体ショー、伊達武将隊による演舞。特に解体ショーは築地のマグロ屋さんの社長自ら買って出てくれました。大間のマグロは130kgもありなかなか見ることができない素晴らしいものでした。伊達武将隊の演舞の最後には壇上にあげられ、一緒に「えいえいおう」の勝ちどきをあげました。仙台近郊有名処による出店では、塩釜の有名な「すし哲」、牛たんは「喜助」、ずんだ餅は「菓匠三全」、その他冷やし中華と笹かまぼこ、みやぎのお酒も十分に堪能してもらいました。



さて2日目の仕事は、会場をうろつくことです。うろつくという言葉は適正ではありませんが、多くの参加者、スタッフに声をかけて回ることも大切な仕事です。患者会のブースを回り、調子に乗ってミニ講演会をしたところ、気さくな会長という評価をもらいました。そして閉会式での挨拶、その頃になると涙腺が緩んでくるのを少しずつ感じてきました。気を取り直しての市民公開講座の司会はきっちり役目を果たせました。そして最後の解散式、スタッフ全員の前での挨拶まではしっかり耐えていたのですが、その後どうなったかは...想像の通りです。大きなことを成し遂げたよろこびが、一気に津波のように押し寄せてきたのです。

学会の準備に関しては、3年前から世話人会、1年6ヶ月前に実行委員会を立ち上げ様々なディスカッションを重ねて、実行委員全てが苦勞を厭わず準備を続けてきました。1ヶ月前からはスタッフの会場見学、研修会を行い万全の体制を整えました。メーリングリストでは朝6時から夜中の2時までメールが飛び交い、実行委員会だけでなくプログラム編集会議では時に深夜まで及ぶことも珍しくはありませんでした。もちろん学会外の仙台市、医師会、その他大勢の方々の力を借りることができました。

一番重要なことは学会を持って来ることですが、これは会長にしかできません。しかし大きな学会では会長はコントロールが役割で、意外と実働範囲は小さいものです。実際に動いてくれた人たちの熱意と努力の積み重ねが、大成功に結びついたのです。当然のことながら、当院のスタッフは中心的な役割を果たし院長を支えてくれました。

様々な方々のお力添えを頂き、素晴らしい学会が開催できました。一生に一度あるかないかの大きな経験です。会長講演での謝辞に示しましたが、患者さん、スタッフ含め多くの人たち、そして家族に支えられている幸せ者です。この経験を活かし、更なる子育て支援活動につなげることが、恩返しと考えています。

本当に、ありがとうございました。(写真は2面にも)

9月のお知らせ

・医学部学生実習

11日(金)

ご協力をお願いします。

午後休診

12日(土) 喘息講演会(東京)

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

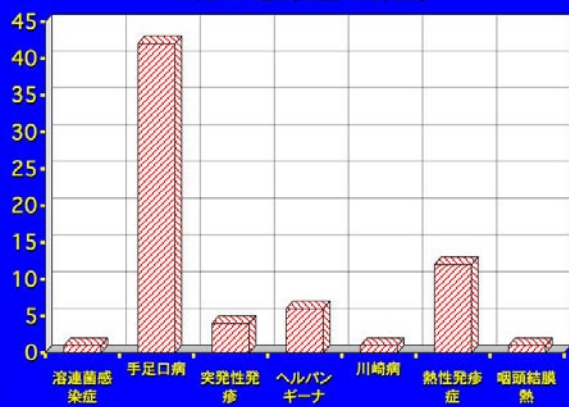
先月は夏期休暇や学会等での休診があったためか、メールは僅か4通でした。1通目は一面記事とも関係する匿名さんからのメールです。様々な事情があるので、匿名にして内容も一部削除してあります。「晩夏の候、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。初めてメールをさせていただきます。〇〇病院小児科の〇〇〇と申します。また、3人のこどもたちを川村先生に診ていただいている父親でもあります。いつも大変お世話になっております。このたびは、誠に急で不躰なお願いになりますが、かわむらこどもクリニック、川村先生の診療の見学をお願いさせていただきたく、ご連絡をさせていただきました。先日、川村先生を会長として開催された日本外来小児科学会に自分も参加させていただきました。会長講演も拝聴させていただき、川村先生の開業理念や長年の活動内容に深く感銘を受けました。ぜひ川村先生の診療にもっと近くで触れたいという思いが強くなり、いてもたってもいられずに、このようなお願いをさせていただいた次第です。今回初めて外来小児科学会に初めて参加させていただきました。これまで参加してきた学会とは一味違った雰囲気にも魅力され、医師としても8年目を迎えた今になり、開業への思いがより一層強まりました。そこで、会長講演であった学生さんのコメント同様になってしましますが、自分の理想としたクリニックをイメージした時にまず自分のこどもたちも診ていただいて身近でもあったかわむらこどもクリニックが浮かんできました。父親の立場としてではなく、今度は小児科医として、川村先生の診療を勉強させていただければと希望しております。そして、いつか自分がクリニックを開業する際には、大いに見習わせていただければと考えております。学会会長の大役を終えたばかりの大変お疲れの時期に誠に恐れ入ります。何卒ご検討をいただけますと幸いです。どうぞよろしくごお願い申し上げます。朝夕冷え込んでまいります季節となりました。どうぞお身体ご自愛してお過ごし下さい。」。一面記事にも書きましたが、会長講演のKeywordはいくつかありますが、そのひとつが「外部評価」です。悲しいかな、人は誰もが外部評価の中に身を置いています。サービス業は「ありがとう」、飲食業は「美味しかった」、他の社会全てでの「ご苦労さま」、そして子どもの看病疲れのお母さんへの「お疲れさま」も、外部評価に他なりません。誤解を招きそうなので書き加えますが、外部評価は得ようと思っ得るものではなく、理念や活動に裏付けされた自己評価もとに、自然に産み出されるものと考えています。この考えは会長講演でも示しましたが、機会があれば是非紹介したいと思っています。と言う理由で、このメールこそが正に外部評価です。外部評価の重要性を説いた講演を聴き、その評価を寄せられたことは最高の評価です。自分の歩んできた道程の正しさを証明してくれるものです。



開業以来20数年続けてきた子育て支援活動も、本当に多くの人たちに支えられてきました。その方々の後押しで参加者が2500人を越える小児科でも有数の学会を成功させることができました。この場を借りて、もう一度全ての方々に感謝の気持ちとして、「ありがとう」の言葉を捧げます。



8月の感染症の集計



全国的に増えているのに合わせて、手足口病は先月よりさらに増えています。ヘルパンギーナもあります。次の日には結局手足口病というケースもあります。溶連菌感染症は減少し、ワクチンの効果か水痘は一人もいませんでした。感染性胃腸炎が相変わらず多く、夏はエンテロウイルスによる胃腸炎が多い季節です。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、550人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBを見てください。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

お陰様で、一生に一度と言ってもいいぐらいの参加者2500人を越える学会を成功のうちに終えることができました。大変な苦労もりましたが、成し遂げた後の達成感は素晴らしいものです。多くの方々のお陰とあちこちで書いていますが、この小さな欄でそっと一言。「どうだ！俺じゃなければできなかったぞ！！」。ここを読む人は子飼いの患者さんだけですから内密に(笑)



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！